

警察官 (I 類) 教養試験問題

平成 25 年 4 月 28 日 (日) 実施

※ 指示があるまで開いてはいけません。

【注意事項】

- 1 問題は全部で50題、25ページです。時間は2時間です。
- 2 乱丁、落丁があれば、申し出てください。
- 3 解答用紙の記入方法は次のとおりです。
 - (1) 組番号、試験区分、受験番号はあらかじめ記入・マークされていますので、誤りがな
いか確認してください。
 - (2) 受付番号を正しく記入し、該当する番号の○をHBの鉛筆又はシャープペンシルで黒
く塗りつぶしてください。

【例】 3組、試験区分男性警察官I類、受験番号123番、受付番号654番の受験者は、
下記のようになります。

組 番 号	0	0	3
	番号		
	●	●	○
	①	①	①
	②	②	②
	③	③	●
	④	④	④
	⑤	⑤	⑤
	⑥	⑥	⑥
	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	
⑨	⑨	⑨	

警察官	男性	I類	●
		II類	○
	III類	○	
	女性	I類	○
		II類	○
		III類	○

0	0	1	2	3
受験番号				
●	●	○	○	○
①	①	●	①	①
②	②	②	●	②
③	③	③	③	●
④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

0	0	6	5	4
受付番号				
●	●	○	○	○
①	①	①	①	①
②	②	②	②	②
③	③	③	③	③
④	④	④	④	●
⑤	⑤	⑤	●	⑤
⑥	⑥	●	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

- (3) 教養試験解答欄は、各問題の解答番号1から5のうち正しいと思う解答番号の○を
HBの鉛筆又はシャープペンシルで黒く塗りつぶしてください。
 - (4) 各問題とも正解は一つですから、二つ以上塗ると誤りになります。
 - (5) 一旦記入してから書き直す場合は、消しゴムできれいに消してください。
※ 砂消しゴムは絶対に使わないでください。
 - (6) 解答用紙にある注意事項をよく確認してください。
- 4 問題の計算などでメモをしたい場合は、問題用紙の余白を使ってください。
 - 5 試験時間中に問題集を切り取る、計算機を使用する、携帯電話等を操作するなどの行為
は、一切禁止します。
 - 6 試験終了後、この問題集は持ち帰ることができます。

～ 本試験問題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

[No. 1] 集会の自由、表現の自由及び通信の秘密に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 集会の自由は憲法の明文で規定されていないが、表現の自由の一部として保障されると解されている。
- (2) 最高裁判所の判例では、集団行進は集会の自由に含まれるため、集団行進を行うには許可を受けなければならない等の事前規制を加えることは一切許されない。
- (3) 最高裁判所の判例では、表現の自由の行使のためであれば、一般に人が自由に入出入りすることのできない場所であっても、管理権者の意思に反して立ち入ることは許される。
- (4) 通信の秘密によって保障される事項には、通信の内容だけでなく、その差出人（発信人）または受取人（受信人）の氏名・居所及び通信の日時や個数なども含まれる。
- (5) 最高裁判所の判例では、通信の秘密が保障されているので、いかなる場合も電話傍受を行うことは許されない。

[No. 2] 次の刑法に定める罪名のうち、裁判員裁判の対象事件として、妥当でないのはどれか。ただし、裁判員法（裁判員の参加する刑事裁判に関する法律）第3条に定める除外事項については考慮しないものとする。

- (1) 通貨偽造及び行使
- (2) 過失致死
- (3) 身の代金目的略取
- (4) 強盗致死
- (5) 現住建造物等放火

[No. 3] オンブズマン制度に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) オンブズマンという用語は、もとは「代表者」を意味する英語である。
- (2) オンブズマンは、市民の苦情などを受け付け行政活動を調査・公表するが、行政機関に対する是正勧告などは一切認められない。
- (3) わが国においては、オンブズマン制度が地方自治体において条例化されている例があるが、国政レベルでの法制度化は実現していない。
- (4) オンブズマン制度とは、行政機関に従属する立場の専門官が、住民の苦情を受け付け、行政の立場からそれを迅速に処理する制度である。
- (5) わが国において、オンブズマン制度が初めて実施されたのは横浜市である。

[No. 4] 国際法に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 国際法には、国際慣習法と不文国際法の2種類がある。
- (2) 国際慣習法の例としては、条約や宣言、議定書などがある。
- (3) パークは、オランダの法学者であり国際法の父と呼ばれている。
- (4) 国際法に基づくと、国家の主権は領土にのみ及ぶため、海洋に国家の主権は及ばない。
- (5) 条約や協定などの国際法は、これに参加しない国に対しては拘束力を持たない。

[No. 5] わが国の財政に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 予算には、公共事業や社会保障など、政府の一般行政にかかわる財政活動の予算である特別会計予算と、特定の事業をおこなったり、特定の資金を運用・管理するための一般会計予算がある。
- (2) 予算のうち、政府関係機関予算については国会の承認を必要としない。
- (3) 年度途中で予想外の状況が生じて組まれる予算を暫定予算という。
- (4) 年度当初に予算の議決ができないときに組まれる予算を補正予算という。
- (5) 郵便貯金や簡易保険などが自動的に財政投融资の財源とされてきたが、2001年度からは、財政投融资に必要な資金は債権の発行などで調達することになった。

[No. 6] わが国の金融の動向に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 1980年代、国際業務を営む銀行の最低水準の自己資本比率を8%とする預金準備率規制が設けられた。
- (2) 1990年代、大蔵省から金融の検査・監督機能を分離・独立させ設立された金融監督庁は、2000年に改組され金融庁となり、金融と財政の分離が完了した。
- (3) 1990年代、倒産などで預金払い戻しが不可能になった金融機関にかわり、預金者に払い戻しを肩代わり・保証する整理回収機構が設立された。
- (4) 1990年代、アメリカにならって「日本版金融ビッグバン」が打ち出され、更なる規制強化を実施し金融市場を活性化させる改革が実施された。
- (5) 2000年代、ペイオフが解禁されたが、これは1000万円までの元本のみを保証しており、その利子については保護の対象外となっている。

[No. 7] 平成24年に施行された、民法の改正による「親権制限制度」や「未成年後見人制度」の見直しに関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 子どもの親族などが家庭裁判所に申し立てることにより、親権を奪うことのできる「親権喪失」という制度が新設された。
- (2) 父又は母による管理が失当で子の財産を危うくしたときに限り、家庭裁判所の宣告によって管理権を喪失させる制度が新設された。
- (3) 家庭裁判所が法人を未成年後見人に選任することはできなくなった。
- (4) 子どもの親族や検察官に加え、子ども本人や未成年後見人も「親権喪失」「親権停止」を請求できる。
- (5) 未成年後見人は、改正前は複数選任することが可能だったが、1人のみと変更された。

[No. 8] 平成23年に始まった求職者支援制度に関する記述ア～ウのそれぞれの正誤についての正しい組合せとして、最も妥当なのはどれか。

ア 当制度は、失業して、雇用保険を受給している者を対象としている。

イ 教材と受講料は有料であるが、入学金は無料で求職者支援訓練を受けることができる。

ウ 平成24年10月に厚生労働省が発表した資料によると、平成24年3月末までに終了した求職者支援訓練の修了者等の就職率は、基礎コース・実践コースともに70%を上回る結果となった。

- | | ア | イ | ウ |
|-----|---|---|---|
| (1) | 正 | 正 | 誤 |
| (2) | 正 | 誤 | 誤 |
| (3) | 誤 | 誤 | 正 |
| (4) | 誤 | 正 | 正 |
| (5) | 正 | 誤 | 正 |

[No. 9] 最近の出来事に関する記述のうち、最も妥当なのはどれか。

- (1) 昨年8月にロシアが156番目の加盟国として世界保健機構に正式加盟した。
- (2) 昨年10月にわが国において48年ぶりにIMF・世界銀行年次総会が開催され、3年後のIMF・世界銀行年次総会はブラジルのリオデジャネイロで開催される。
- (3) 昨年11月に国連総会において、パレスチナの国連非加盟オブザーバーとしての地位を「機構」から「国家」に格上げする決議案を採択し、わが国はこの決議にアメリカとともに反対した。
- (4) 昨年11月にアメリカにおいて大統領選挙が行われ、共和党のバラク・オバマ氏が民主党のジョン・ケリー氏を破り再選した。
- (5) 昨年12月に韓国において大統領選挙が行われ、朴槿恵氏が文在寅氏を破り本年2月に韓国初の女性大統領として就任した。

[No.10] 文明開化に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 西洋近代思想が流行し、福沢諭吉の『西国立志編』が新思想の啓蒙書として読まれた。
- (2) 西洋諸国の例にならって暦法を改め、旧暦の太陰暦を廃止して太陰太陽暦を採用した。
- (3) 王政復古による祭政一致の立場から神仏習合を認め、神道を国教とする方針を示した。
- (4) 文部省は国民皆学を理念とし、イギリスの制度にならった統一的な学制が公布された。
- (5) 1872年に東京にはじめて女学校ができ、ついで女子師範学校が設けられた。

[No.11] 平安時代中頃における地方の反乱に関する記述中の、空所A～Cに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

東国に早くから根をおろし下総を根拠地にしていた（A）は一族の争いを端に発して乱をおこし、親皇と自称した。同じころ、西国では（B）が瀬戸内海の子官を率いて反乱をおこし、伊予の国府や大宰府を攻め落とした。この二つの乱を時の年号から（C）という。

- | | A | B | C |
|--|---|---|---|
|--|---|---|---|

[No.1 2] ヨーロッパの封建社会における荘園に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 封建社会における土地領有の単位を荘園といい、国王だけが所有していた。
- (2) 荘園は村落を中心に領主直営地と共同利用地の二つによって成立していた。
- (3) 農奴は農民と区別されていたが、結婚税や死亡税を納める義務はなかった。
- (4) 農民は外部権力が荘園に介入することを拒否する不輸不入権を持っていた。
- (5) 三圃制の普及や水車などの技術進歩により農業生産力が飛躍的に向上した。

[No.1 3] 明の社会と文化に関する記述中の、空所A～Cに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

日本でのキリスト教普及の基礎を築いたイエズス会宣教師の（A）は中国布教をめざしたが実現しなかった。その後（B）らが16世紀末に中国に入って布教をおこなった。（B）が作製した（C）は中国に新しい地理知識を広めた。

	A	B	C
(1)	フランシスコ＝ザビエル	マテオ＝リッチ	『坤輿万国全図』
(2)	フランシスコ＝ザビエル	マルコ＝ポーロ	『皇輿全覧図』
(3)	マテオ＝リッチ	マルコ＝ポーロ	『坤輿万国全図』
(4)	マテオ＝リッチ	フランシスコ＝ザビエル	『坤輿万国全図』
(5)	マルコ＝ポーロ	フランシスコ＝ザビエル	『皇輿全覧図』

[No.1 4] 成帯土壌に関する記述中の、空所A～Cに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

熱帯は日射が強く降水量が多いため、植物がよく茂る。しかし、多量の降雨により土壌中の養分は流され、鉄分などが多く残る（A）と呼ばれる赤色土となり、肥沃度は低い。

ステップ気候区の比較的雨量の多い地域では草の密度が増し、乾季に枯れた草の腐食によって、ウクライナ周辺では（B）と呼ばれる肥沃な黒土が形成される。

亜寒帯（冷帯）には、寒さに強い単一または少数の樹種からなる針葉樹林が広がる。針葉樹の落ち葉は分解されにくく、酸を生成する。この酸が土を褐色にする鉄分をとかしてしまうため、（C）と呼ばれる白っぽい土壌となる。

	A	B	C
(1)	ラトソル	チェルノーゼム	ポドゾル
(2)	レグール	テラロッサ	ポドゾル
(3)	ラトソル	テラロッサ	レグール
(4)	ポドゾル	チェルノーゼム	レグール
(5)	テラロッサ	ラトソル	チェルノーゼム

[No.15] インドの地形に関する記述中の、空所A～Dに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

インドの地形は、ヒマラヤ山脈・ヒンドスタン平原・インド半島の3地域から形成されている。ヒマラヤ山脈はインド＝オーストラリアプレートと(A)の境界に形成された(B)である。ヒンドスタン平原はガンジス川が形成した(C)で、河口には広大な三角州が発達している。インド半島には(D)のデカン高原が広がっている。

	A	B	C	D
(1)	アラビアプレート	断層山脈	侵食平野	古期造山帯
(2)	アラビアプレート	褶曲山脈	沖積平野	古期造山帯
(3)	ユーラシアプレート	褶曲山脈	侵食平野	安定陸塊
(4)	ユーラシアプレート	褶曲山脈	沖積平野	安定陸塊
(5)	ユーラシアプレート	断層山脈	侵食平野	安定陸塊

[No.16] 現代社会の課題に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) バイオテクノロジーや先端的な医療技術における人間の行為の倫理的・法的・社会的な問題、及びその体系的な研究をメディア・リテラシーという。
- (2) 人間らしい尊厳を持って自然に死にたいという尊厳死への欲求が年々高まってきたため、日本でも、ホスピス・ケアのシステムが整備され、本人の意思にもとづき致死薬の投与などで直接死に導く積極的安楽死も合法化された。
- (3) クオリティー・オブ・ライフという考え方は生命の質とともに生活の質という意味も持つ。障害者や高齢者の生活の質の向上を支援するノーマライゼーションの視点が忘れられてはならない。
- (4) 従来の医者と患者の関係も変化してきた。日常的な医療においても、パターナリズムを排し、患者の自己決定を尊重するバイオエシックスが重視されるようになってきた。
- (5) 情報社会を生きていくには、インフォームド・コンセントの獲得が不可欠である。これは、情報機器を利用しつつ、メディアが形づくる「現実」を批判的に読みとっていく能力のことである。

[No.17] 次のA～Dの日本の文学作品を、成立した時代が古い順から並べた場合の正しい順序として、最も妥当なのはどれか。

- A 『新古今和歌集』
- B 『雨月物語』
- C 『土佐日記』
- D 『太平記』

- (1) C→B→A→D
- (2) C→A→D→B
- (3) B→D→C→A
- (4) A→B→D→C
- (5) A→C→B→D

[No.18] 次のことわざ・慣用句の組合せのうち、反対の意味になるものとして、最も妥当なのはどれか。

- (1) 瓢箪から駒 — 藪から棒
- (2) 味をしめる — 嘘も方便
- (3) 水魚の交わり — 犬猿の仲
- (4) 笛吹けど踊らず — 雀百まで踊り忘れず
- (5) 背に腹はかえられない — 溺れる者はわらをもつかむ

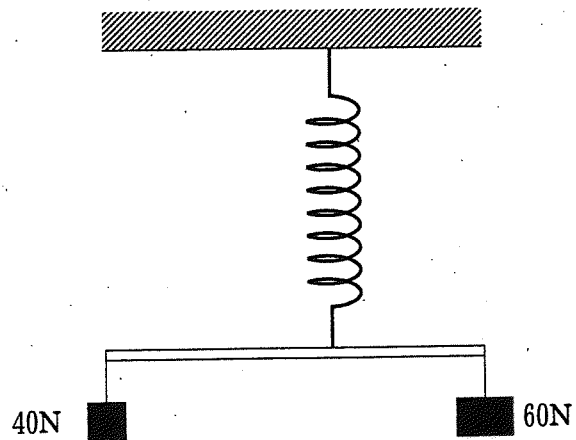
[No.19] 次の下線部の動詞のうち、活用形が未然形のものとして、最も妥当なのはどれか。

- (1) 校歌を歌おう。
- (2) 彼の言うことは正しいと思った。
- (3) 春奈ちゃんは絵本を読むことが好きだ。
- (4) 梅雨だから雨がよく降る。
- (5) 夏が来れば思い出す。

[No.2 0] 三角形ABCの3辺a、b、cの長さがa=13、b=14、c=15のとき、三角形ABCの面積として、正しいのはどれか。

- (1) 84
- (2) $64\sqrt{2}$
- (3) $64\sqrt{3}$
- (4) 120
- (5) $92\sqrt{3}$

[No.2 1] 次の図のように、長さ2.0mの軽い棒の一方の端に重さ40Nのおもりを、他方の端に重さ60Nのおもりをつるし、棒がちょうど水平になる位置にばね定数 $2.5 \times 10^3 \text{ N/m}$ のつるまきばねをつけて、天井からつるした。すると、つるまきばねが自然の長さからx mだけ伸びた状態でつりあい、静止したとき、xの値として正しいのはどれか。ただし、棒の重さは考えないこととする。



- (1) 0.10
- (2) 0.20
- (3) 0.30
- (4) 0.40
- (5) 0.50

[No.2 2] 次のうち単結合のみからなる化合物として、最も妥当なのはどれか。

- (1) ベンゼン
- (2) 二酸化炭素
- (3) アセチレン
- (4) エタン
- (5) エチレン

[No.2 3] スイートピーの白色花の株にはいくつかの系統がある。いま、遺伝子型が CCpp である系統の白色花と、遺伝子型が ccPP である系統の白色花とを交雑したところ、F₁ (雑種第一代) ではすべて有色花になり、F₂ (雑種第二代) では有色花と白色花がおよそ 9 : 7 の分離比で現れた。この現象についての説明として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 遺伝子 C は遺伝子 P に対して優性である。
- (2) 遺伝子 P は遺伝子 C に対して不完全優性である。
- (3) 遺伝子 P は遺伝子 C が有色の色素をつくる働きを抑制する。
- (4) 遺伝子 C は遺伝子 P が有色の色素をつくる働きを抑制する。
- (5) 遺伝子 C と遺伝子 P の両方をもつ個体だけが有色花になる。

[No.2 4] 地層の堆積構造に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) 水や風が向きや速さを変えながら運んだ砂粒が堆積してできた、地層面と斜交した細かな縞模様を、リプルマークという。
- (2) 砂や泥がいっしょになって水中を高速度で移動して静かな水底に形成された海底堆積物を、ソールマークという。
- (3) 水流などによって地層の上面にできた周期的な波状の模様を、クロスラミナという。
- (4) 1 枚の地層の中で下部から上部へ順次粒径が変化していく構造を、タービダイトという。
- (5) 地層が堆積したままの状態ならば下位のものほど古く上位のものほど新しいことを、地層累重の法則という。

[No. 2 5] 次の英文の空所A～Eに、(1)～(5)の語句を1つずつ入れて文を完成させたとき、空所Cに当てはまる語句として、最も妥当なのはどれか。

Of (A) the collective identities in (B) human beings (C) today, national identity is perhaps the (D) fundamental (E) inclusive.

- (1) all
- (2) and
- (3) most
- (4) share
- (5) which

[No. 2 6] 次の英文と和文が同じ意味になるように下線部の語句が用いられているものとして、最も妥当なのはどれか。

- (1) She succeeded in her mother's estate. (彼女は母親の遺産を相続した。)
- (2) I came down on a cold. (私は風邪をひいた。)
- (3) A stranger approached to me. (見知らぬ人が私に近づいてきた。)
- (4) He makes dinner once for a while. (彼はときどき夕食を作る。)
- (5) Do you know what ILO stands for? (ILOが何を表すか知っていますか?)

[No. 2 7] 次の英文の内容と合致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Far more important to the future of cities than constructing new buildings will be the value people place on the urban experience. Great structures or basic physical attributes—location along rivers, oceans, trade routes, attractive green space, or even freeway interchanges—can help start a great city, or aid in its growth, but cannot sustain its long-term success.

In the end, a great city relies on those things that engender*1 for its citizens a peculiar and strong attachment, sentiments that separate one specific place from others. Urban areas, in the end, must be held together by a consciousness that unites their people in a shared identity. “The city is a state of mind,” the great sociologist Robert Ezra Park observed, “a body of customs, and of unorganized attitudes and sentiments.”

Whether in the traditional urban core or in the new pattern of development in the expanding periphery*2, such issues of identity and community still largely determine which places ultimately succeed. In this, city dwellers today struggle with many of the same issues faced by the originators of urbanity*3 anywhere in the world.

Progenitors*4 of a new kind of humanity, these earliest city dwellers found themselves confronting vastly different problems from those faced in prehistoric nomadic*5 communities and agricultural villages. Urbanites*6 had to learn how to coexist and interact with strangers from outside their clan or tribe. This required them to develop new ways to codify*7 behavior, to determine what was commonly acceptable in family life, commerce, and social discourse.

In earliest times, the priesthood*8 usually instructed on these matters. Deriving their authority from divinity, they were able to set the rules for the varied residents of a specific urban center. Rulers also gained stature by claiming their cities to be the special residences of the gods themselves, the sanctity*9 of the city was tied to its role as the center for worship.

[語義] engender*1 生じさせる / periphery*2 周辺部 / urbanity*3 都市 /
progenitor*4 先駆者 / nomadic*5 遊牧民の / Urbanites*6 都市生活者 /
codify*7 成文化する / priesthood*8 聖職者 / sanctity*9 神聖さ

- (1) 大昔の都市住民は、新たな行動様式を編み出す際に、支配者層と聖職者に指示を仰いだ。
- (2) 共通のアイデンティティを持つ人々が集まった結果として、都市が形成されるのである。
- (3) 都市の未来を大きく左右するのは、都市が郊外との競争に勝てるかどうかという点である。
- (4) 大建造物の存在や都市の立地条件は、都市の繁栄を長期的に支える最大の要素である。
- (5) 大都市には、そこが他の場所とは違うという、強い愛着を感じさせるものがある。

[No. 28] 次の英文の内容と合致するものとして、最も妥当なのはどれか。

That sense of awe comes from being in the presence of something much more powerful and larger than yourself: something so large that its dimensions are difficult to comprehend. Edmund Burke, writing in the eighteenth century on the nature of the sublime, listed a series of qualities objects had to possess to produce a sense of the sublime: obscurity, power, vastness*¹, magnitude and infinity among them. That is why the Grand Canyon, 28 miles long, 18 miles wide, 15,000 feet deep and the product of two billion years of geological change, produces such a sense of awe. In the nineteenth century American technology started to take over from objects of nature as the objects of awe. The orator*² Edward Everett, in 1852, for example, greeted the railway locomotive as a 'miracle of science, art and capital, a magic power...by which the forest is thrown open, the lakes and rivers are bridged and all Nature yields to man'. Little more than a century later it was space travel that provoked this sense of awe. Witnesses to the launch of the space shuttle Columbia in 1981, part of a crowd of more than half a million, spoke of having an exalted, quasi-religious experience. Those people were making a pilgrimage*³. In the 1990s America made a collective technological pilgrimage into cyberspace to experience a similar state of transcendence.

This sense of awe at technology was not largely a European phenomenon. Europeans have not, by and large, embraced the vertical city centre, although many Asian cities have done so. Europeans banned or restricted the neon signs that so excited New Yorkers in the 1920s. Europeans seldom flocked to watch rockets being launched and did not treat nuclear bomb test sites as tourist attractions. Technological progress is part of America's manifest destiny, to discover endless new frontiers. Europeans have held this technological rapture at bay. But in the 1990s the global communications revolution drew us all into the technological rhapsody*⁴, at least to some degree.

[語義] vastness*¹ 広大さ / orator*² 弁論家 / pilgrimage*³ 巡礼 / rhapsody*⁴ 狂詩曲

- (1) アメリカで畏敬の念の対象が自然からテクノロジーへと移行したのは、19世紀のことである。
- (2) あまりにも大きく強い存在に対しては、理解することも畏敬の念を抱くことも難しい。
- (3) グランドキャニオンが崇拝される理由を、エドマンド・パークは一連の資質を挙げて説明した。
- (4) ヨーロッパにおけるネオンサインの禁止や制限に対して、ニュー Yorker は色めき立った。
- (5) ヨーロッパ人はビルが屹立する中心街を喜ばないが、それはアジアの諸都市でも同様である。

[No.29] 次の文章中の空欄 ～ に当てはまる内容の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

現代における科学の発達には目をみはるものがありますが、そのためにかえってあまりに分野が細分化されすぎてしまい、大学で自然科学を専攻して卒業した人たちでも、自分の専門外のことはちんぷんかんぷんだったりするのが現状です。ましてや、理系科目はずっと苦手だったという読者の方でしたら、科学技術の恩恵にはあずかっているけれども、科学研究そのものと自分の日常生活に遠い隔たりを感じていらっしゃるかもしれません。

しかし一方で、それほど日常生活と遠い隔たりを感じる科学的知識に私たちは大きな信頼を置いています。それはいったいなぜなのでしょう。もちろん、高度な科学技術が実現されていてその恩恵にあずかっているからということもあるでしょう。ですが、私たちが信頼している科学的知識には、たとえば宇宙がどのように始まったかとか、生物がどのように進化したかなど、直接的には科学的技術として応用されておらず、それこそ私たちの日常生活とはかかわりのないようなものも含まれています。

そのような知識までも含めて、私たちが科学的知識を信頼するのは、科学で用いられる方法論が、そもそも私たちが日常生活で知識を得て、そしてそれを正当化している方法をより洗練させたものであるからに他なりません。つまり、 は、(から切り離すと) 一見私たちの とは縁遠いものに見えますが、じつは密接に関係するものなのです。

- | | ア | イ | ウ |
|-----|-------|-------|-------|
| (1) | 科学技術 | 科学的知識 | 日常生活 |
| (2) | 科学技術 | 日常生活 | 科学的知識 |
| (3) | 科学的知識 | 日常生活 | 科学技術 |
| (4) | 科学的知識 | 科学技術 | 日常生活 |
| (5) | 日常生活 | 科学的知識 | 科学技術 |

[No.30] Aの文章を先頭、Eの文章を最後に置き、残りのB～Dを並べかえて意味の通る文章にしたときの順番として、最も妥当なのはどれか。

A 生命は環境に形作られるとよく言われる。その環境は、場所によって異なるだけでなく、短期的、あるいは長期的に変動している。規則的な変動もあれば、不規則的な変動もある。そして、生物は、それぞれの環境で上手く生きていけるように、その体の構造も行動も時間をかけて、環境に合うように変えていく。

B そういう意味で、どの器官にもそのコストに見合う機能的なメリットが存在すると考えるのが合理的だ。もし、それに見合うメリットがないなら、その器官を維持するために無駄になっているコストを、別のことで有効利用している他の個体に負けるはずだからだ。つまり、時間をかけて、その器官を失っていくだろう。

C では、その環境が生物にとって理想的なものであり続けたとしたならば、生物、あるいは、我々ヒトは、いったいどうなっていくのだろうか？ ここでの「理想的」とは、自ら能動的に行動したり、変化したりしなくても、すべてが満たされながら生きていけるという環境のことだ。もちろん、具体的に、どうやって、そのような環境を維持することができるのかと問われても返答に困るが、実現可能性はここでは問わずに、ウルトラ過保護な環境というものを、一種の思考実験として想定してみようということだ。

D 生物の体には様々な器官が備わっている。それらの器官を作り上げて維持するだけでもコストがかかる。たとえば、栄養を供給し続けないとだめだし、体重はその分だけ重くなるし、その器官を作り出すために成長段階で時間が余分にかかるし、さらには、その構造があるために、体全体のデザインとしても制約を受けるだろう。

E 意味なく存在する器官として、盲腸はどうだろう。虫垂炎を引き起こすだけの意味のないものなのに、皆、しっかり、お腹のなかに抱え込んでいるではないか。そう思える。しかし、近年では、盲腸は意味なく腸につながっていて、ときどき虫垂炎を起こして悪さをする、というものではないということが明らかになってきた。虫垂は、腸内細菌と一緒にあって、しっかり免疫系の働きをしているようなのだ。

- (1) A-B-D-C-E
- (2) A-C-B-D-E
- (3) A-C-D-B-E
- (4) A-D-B-C-E
- (5) A-D-C-B-E

[No.3 1] 次の文章の要旨として、最も妥当なのはどれか。

研究者のコミュニケーション様式とはそもそも、専門的な知識を持った研究者が、実証的なデータに基づいて、議論を行います。そして新しくわかったことは論文にまとめて発表します。また論文は「査読」といって、専門ごとに権威ある学会が依頼した複数の専門家に読まれ、その論文の内容が正しいかどうか審査されます。このようにして認められた論文は、それが重要な研究であればあるほど、他の研究者の論文に「引用」され、その引用数が論文の重要性を表す尺度として利用されていきます。

新しい発見が論文になるということは、逆に言えば、既知の事柄はすべて共有されていたほうがいいことになります。究極的には、共有されていなければそれが新しいということ判断する基準がないからです。学術あるいは科学の世界では、古くから論文や雑誌といった媒体が、このように自分の知識と他者の知識をつなぐ役割を担ってきました。

ここには二つの利点があります。一つは分業効果で、専門分化が進む科学の世界では、ある分野における知見を一人の科学者が網羅的に記述することはあまり現実的ではありません。また、各分野間の関係は複雑に絡み合っているために、一つの体系にまとめることが難しいという事情もあります。科学者が各分野の情報を共有できれば、それぞれの分担を決めて作業することが可能になります。

実際、誰かが調べてもうわかっていることは二度調べる必要はなく、データを他の人が参照できれば、同じ実験をする必要はありません。これまでの論文がデータベースのようなものにまとめられていれば、常に最新の状態に保ってより多くの研究者が共有できるようにしておくことで、発明や発見のヒントになったり、それまで気づかれていなかった未解決の問題を発見したりして、新しい知の創成に役立つことも多いでしょう。そこで二つの利点は、知識のシナジー^{*1}効果ということになります。たとえばある事象に対して、複数の執筆者が異なった意見を表明しているような場合も、複数の意見に目を通すことで、個別の文書から得られる知見よりもより豊かな結論を得られる可能性が高まります。

[注] シナジー^{*1} 相乗作用。

- (1) 新しい論文は、専門ごとに権威ある学会が依頼した複数の専門家に読まれ、その論文の内容が正しいかどうか審査することにより、複数の執筆者が異なった意見を表明しているような場合でも、より豊かな結論を得られる。
- (2) 研究者の新発見は議論の後に論文として発表され、査読を経て他の研究者の論文に引用されるが、学術や科学の世界で論文や雑誌がその役割を担ってきた既知の事柄の共有には、二つの利点がある。
- (3) 学術や科学の世界では、分業効果と知識のシナジー効果によって情報の共有化が進み、論文が常に最新の状態を保ったデータベースにまとめられ、多くの研究者が利用できるようになった。
- (4) 専門分化が進む科学の世界では、各分野間の関係は複雑に絡み合っており、査読の際には、対象となる論文が他の研究者の論文にどれだけ引用されたかが、論文の重要性を表す尺度として利用されている。
- (5) 論文は、専門的な知識を持った研究者が分担を決めて作業し、実証的なデータに基づいて行った議論の結果をまとめたものであり、一人の科学者が記述することは現実的ではない。

[No. 3 2] 次の文章の要旨として、最も妥当なのはどれか。

マジックは観客を欺くエンターテインメントである。実際に起きていないことがあたかも起きたかのように観客に錯覚させるのだから。通常、だまされて楽しいなどということは滅多にない。しかしマジックでは、完璧にだまされることを楽しむ、というきわめて特殊な心理状態を観客は経験する。完璧にだまされたい観客から見ると、多少の不自然さも許されない。そのためにマジシャンは周到な準備と不断の努力を積み重ねている。たとえば、玉を手に実際にもっている場合と、単にもっているふりをする場合では、素人では自ずと力の入り具合などが異なる。そこでマジシャンは、手に玉をもっているように見せかけるために、玉をもたずとも実際に玉をもっているときの筋肉の動きまで再現できるように練習を重ねるそうである。筋肉の動きはタキシードの袖に隠れて観客には見えないにもかかわらずである。

また、マジシャンは、表と裏の二つのシナリオを完璧にこなす必要がある。たとえば、ハト出しのマジックでは、観客が見るストーリーは、何もなかったことを確認したハンカチからハトが飛び出す、という単純なものである。しかし、マジシャンは、この表のシナリオと同期して、もう一つの裏側のシナリオを寸分の狂いもなく演じなくてはならない。つまり、観客には悟られないように、どこからかハトを取り出して、ハンカチのなかに移動するという段取りである。このとき、裏側のシナリオの都合で、観客が見る表側のストーリーに不自然さが生じてはならない。マジシャンは、あたかも裏のシナリオが存在しないかのように表のシナリオを演じつつ、「裏方」の役割も完璧にこなすという、高度な作業を行っている(このように二つの作業を同時に行うことを心理学の用語では「二重課題」と呼ぶ)。そのためにマジシャンは徹底的に段取りを練習し、裏方が存在しないかのように演じる。また裏表のシナリオは周到に考えられている。一見、無意味に見える仕草がじつは裏方としては重要なこともあれば、その重要な仕草を隠すために、マジシャンはわざと意味ありげな仕草をすることもある。舞台上マジシャンが見せるすべての行動には、計算し尽くされた意図が潜んでいるのである。

- (1) マジックは、観客が完璧にだまされることを楽しむエンターテインメントであり、舞台上マジシャンが見せるすべての行動には、計算し尽くされた意図が潜んでいる。
- (2) マジックをおこなう際に、マジシャンは、観客には見えない筋肉の動きまで再現できるように練習を重ねることにより、裏方の役割をもひとりで完璧にこなしている。
- (3) マジックでは、観客に、完璧にだまされたいという特殊な心理状態を経験させることにより、マジシャンの多少の失敗は気づかせないようにして、観客の要求を満たしている。
- (4) マジシャンの、一見無意味に見える仕草は、実は観客が見る表側のストーリーの重要な一部であり、その裏側では、もう一つのシナリオが寸分の狂いもなく演じられている。
- (5) マジシャンは、観客を欺くために、周到に考えられた裏表二つのシナリオを同時に演じているが、裏方としての重要な動作が、意味ありげな仕草としてあらわれてしまうことがある。

[No.3 3] 次の文章の内容と一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

歴史学には長い伝統があり、研究方法や叙述にも一定の形があると考えられているから、読者は歴史学の成果に対しておのずから特定の形を想定してしまうだろう。しかし社会史研究は今のところ研究者それぞれが独自の形で営んでいるから、読者は特定の形を想定しえない。そこに社会史研究のメリットがある。社会史研究が特定の形をもちはじめたとき、社会史研究は社会史研究ではなくなってしまうだろう。

社会史研究の対象はいくらでも広がりうるが、社会史研究の原点とでもいうべきものがあると私は考えている。衣服の社会史や駅の社会史などいくらでも対象は広がりうるだろう。しかし社会史研究には固有の課題があると私は考えている。それは社会史研究が生れねばならなかった必然性によって要請されているものであって、その課題が自覚されていない研究はどのような研究であっても、好事家的なものといわねばならないであろう。

社会史研究の固有の課題とは私たち自身のことであり、私たちが生きている日本の社会である。自分自身と日本の社会との関係は個々の研究者によってさまざまであり、多様な形で意識されているであろうが、この二つは直接つながっているとは限らない。両者の間に大きな溝があるばあいもあれば、溝の存在が自覚されていないばあいもある。したがって私たち自身と日本の社会の関係の問題も社会史研究のひとつのテーマでありうるが、それは個々の研究者が自ら解決してゆくしかない面をもっている。他方でこの問題を個々の研究者の生涯のなかに限定して考えるのではなく、私たちが日本の社会との関係の問題としてとらえたときに、問題の領域は大きく広がってくる。

社会史研究の対象が私たち自身であるというとき、それは個としての自分であると同時にその自分のなかにあつて、個としての自分のあり方を規定している歴史そのものを含んでいる。

- (1) 社会史研究の固有の課題とは、個としての自分と、そのなかにあつて、そのあり方を規定している歴史そのものを含む、私たち自身のことであり、私たちが生きている日本の社会である。
- (2) 社会史研究の対象はいくらでも広がりうるが、社会史研究がもつ特定の形の自覚がないまま選ばれた対象の研究は、どのような研究であっても、好事家的なものである。
- (3) 社会史研究の対象は、歴史学が対象とするものすべてを含んでおり、衣服の社会史や駅の社会史などのように、いくらでも広がりうる。
- (4) 歴史学の固有の課題は特定の形を想定できるが、社会史研究の固有の課題は私たち自身で見つけ出すべきものであり、歴史学の固有の課題とはおのずから異なる。
- (5) 歴史学は研究方法や叙述に一定の形があるが、社会史研究は研究者それぞれが独自の形で営んでいて読者は特定の形を想定できず、それが社会史研究の短所である。

[No.3 4] 次の文章の要旨として、最も妥当なのはどれか。

伝統とは変化するものである。そして、人々の記憶の中で生き続けるものでもある。デジタルによる保存がそのような「伝統」の持つ特質を無視し、一時の状態を固定したものとして伝えることになってしまうならば、それは本質から大きくはずれることになる。

私は、伝統芸能をデジタル化するという試みの中で、一つの本質的な疑問を持った。「本来ならば消えていくものが、テクノロジーによって保存される。それは本当によいことなのだろうか」という疑問である。一般には、「無形なものはほおっておけば消えてしまうので、テクノロジーを活用することにより保存していこう」と考える。つまり、テクノロジーを利用して無形なものを有形にしようとする。しかし、デジタル化により伝統が保存された瞬間、その伝統はある一時点で変化することを止める。このことを深く考えずに保存することは、大きなリスクを伴う。ともすれば、デジタルによる保存が間違った「伝統」を後世に伝える強力な道具になり得てしまう。それは本当によいことなのだろうか。

私たちはさまざまなことを学び、そして多くを忘れる。一般に重要なことは忘れないようにし、それほど重要でないことから忘れていく。だからこそ人間は成長し、少ない知識しかなくとも複雑であいまいな社会のなかで生きていくことができる。

伝統というものも、同様である。さまざまな文化が時代時代で生まれては消えていく。その時代を乗り越えて、ある一定の時間を生き残ったものだけが「伝統」として成立する。そこには、ある種の「権威」が存在する。その権威を獲得した伝統だけが、「伝承」という名の下に「そのまま後世に残す」「そのまま後世に伝える」という営為を受ける権利がある。

しかし今検討したように、実際には「そのまま後世に残す」「そのまま後世に伝える」ことは不可能に近い。時代の状況などさまざまな事情により、その伝統は少しずつ変化することを免れない。伝統とは変化するものである。逆にいえば、変化するからこそ、長い時間、生きていくことができる。そうでなければ、時代に合わないという理由で、その社会から排除されてしまうだろう。

- (1) 一定の時間を生き残ってある種の権威を獲得した伝統だけが、「そのまま後世に残す」「そのまま後世に伝える」という営為を受ける権利があるが、その伝統は少しずつ変化するので、実際に「そのまま後世に残す」「そのまま後世に伝える」ことは不可能に近い。
- (2) テクノロジーを利用して、無形なものを有形にしたうえで保存しようとするのは一般的なことだが、本来ならば消えていく伝統芸能というものをデジタル化するにあたって、テクノロジーによって無理に保存することは本当によいことなのだろうかという疑問を持った。
- (3) デジタル化により伝統が保存された瞬間、その伝統はある一時点で変化することを止めることになり、一時の状態を固定したものとして保存できるので、本質を伝えることができる。
- (4) 伝統とは変化するものであり、変化に要する期間が長い伝統は「伝承」とよばれるが、短期間に变化した伝統のなかには、時代に合わないという理由でその社会から排除されてしまうものもある。
- (5) 私たちはさまざまなことを学ぶが、成長にともなって重要でないことから忘れてしまい、私たちの知識が少なくなった結果として、社会は逆に複雑であいまいになる。

[No.3 5] 「すべての男性は優しい」という命題が偽であるとき、確実に言えるのはどれか。

- (1) すべての男性は優しくない
- (2) すべての女性は優しい
- (3) ある男性は優しくない
- (4) 優しくなければ男性でない
- (5) ある女性は優しい

[No.3 6] A～Gの7人の性別について、次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

ア 7人のうち男性は4人、女性は3人である。

イ A、B、C、Dのうち2人は男性、2人は女性である。

ウ B、C、D、Eのうち2人は男性、2人は女性である。

エ B、D、Fのうち2人は男性、1人は女性である。

- (1) Bは男性である。
- (2) Cは女性である。
- (3) Dは女性である。
- (4) Eは女性である。
- (5) Fは男性である。

[No.3 7] A～Eの5チームが1試合ずつのバスケットボールの総当たり戦を行った。試合結果について、次のことが分かったとき、確実に言えるのはどれか。

ア 引き分けの試合は無く、すべてのチームの勝ち数は異なっていた。

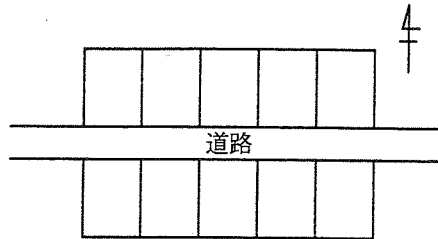
イ AはBに勝ったが、Cよりも勝ち数は少なかった。

ウ BはDに勝った。

エ EはCに勝った。

- (1) Aは2勝2敗だった。
- (2) BはEに勝った。
- (3) CはDに負けた。
- (4) DはAに勝った。
- (5) Eは3勝1敗だった。

[No.38] 次の図のような10区画に分けられた土地に、A～Hの8軒の家が1区画に1軒ずつ建っている。それぞれの家の位置について、次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。



- ア 空き区画が2区画あり、空き区画どうし隣接している。
- イ Aの家は道路の南側にあり、Dの家との間は2区画である。
- ウ Cの家は西から2番目の区画にあり、空き区画には隣接していない。
- エ Bの家はGの家の道路を挟んだ真向かいにあり、1区画おいた西側にEの家がある。
- オ Eの家は端の区画ではない。
- カ Fの家は端の区画で、また、Hの家は隣接していない。

- (1) Bの西隣はAの家である。
- (2) Dの家はEの家の道路を挟んだ真向かいにある。
- (3) EとHの間には2つの空き区画がある。
- (4) Aの家は最も西側の区画にある。
- (5) Cの家は空き区画の道路を挟んだ真向かいにある。

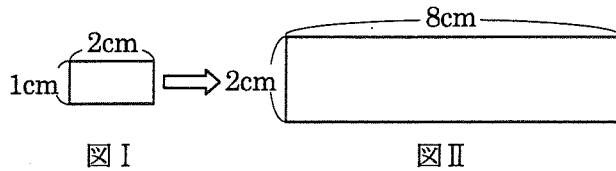
[No.39] A～Eの5人は同じ大学の出身で、現在は政治家、医師、弁護士、税理士、教師のいずれか異なる職業に就いている。この5人に関して、次のことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

- ア CとEは同じ団地に住んでおり、近くに教師の家がある。
- イ AとCは高校時代、政治家、弁護士とともに野球部に所属していた。
- ウ 政治家はDとEとともにゴルフによく行く。
- エ 昨日、DとEは医師の家に遊びに行った。
- オ Cの娘は医師の息子と婚約している。

- (1) Aは教師である。
- (2) Bは医師である。
- (3) Cは税理士である。
- (4) Dは弁護士である。
- (5) Eは税理士である。

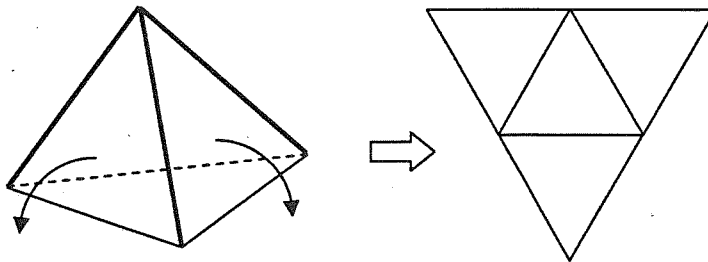
[No.4 0] 図Ⅰのように横の辺の長さが2cm、縦の辺の長さが1cmのタイル8枚を重なるところがないように継ぎ合わせて、図Ⅱのような横の辺の長さが8cm、縦の辺の長さが2cmの長方形をつくるとき、継ぎ合わせ方の数として、正しいのはどれか。ただし、継ぎ合わせたあとで180度回転させると同じ継ぎ合わせ方となる場合は同じものとし、タイルは裏返すことができないものとする。

- (1) 12通り
- (2) 18通り
- (3) 21通り
- (4) 27通り
- (5) 34通り



[No.4 1] 正四面体を展開図の形にするには、例えば、図のように3つの辺を切断しなければならない。同様に正八面体を展開図にするときに切断しなければならない辺の本数として、正しいのはどれか。

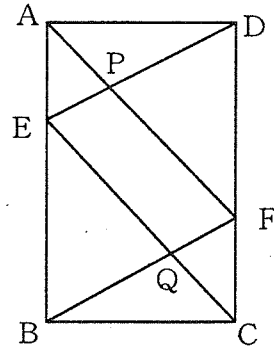
- (1) 4本
- (2) 5本
- (3) 6本
- (4) 7本
- (5) 8本



図の太線部分を切断

- [No.4 2] 面積が 180 cm^2 の長方形 $ABCD$ がある。図のように、辺 AB を $1 : 2$ に内分する点を E 、辺 CD を $1 : 2$ に内分する点を F とする。線分 AF と DE の交点を P 、線分 BF と CE の交点を Q としたとき、四角形 $PEQF$ の面積として、正しいのはどれか。

- (1) 30 cm^2
 (2) 40 cm^2
 (3) 50 cm^2
 (4) 60 cm^2
 (5) 70 cm^2



- [No.4 3] 1個のサイコロを投げて、奇数の目が出たときは出た目の数と同じ点数、偶数の目が出たときは出た目の数の半分の点数を得るゲームがある。得点0の者が、サイコロを2回投げたとき、得点が6となる確率として、正しいのはどれか。

- (1) $\frac{1}{9}$
 (2) $\frac{5}{36}$
 (3) $\frac{1}{6}$
 (4) $\frac{7}{36}$
 (5) $\frac{2}{9}$

- [No.4 4] ある団体旅行で、52人乗りのバスを満席にして使うと、最後の1台は12人分の席が余る予定であった。ところが、参加者が予定より60人減ったため、1台に44人乗せると予定の台数では不足し、1台に45人乗せると最後の1台は45人未満となることがわかった。実際にこの団体旅行に参加した人数として、正しいのはどれか。

- (1) 369人
 (2) 448人
 (3) 456人
 (4) 500人
 (5) 508人

[No.4 5] 水槽に水道から水が1分間に3リットルの割合で流れ込み、水槽の上から水が溢れ出ている。水道から水が流れ込んでいるまま、ポンプで排水する。ポンプAで排水すると24分で水を汲みつくし、ポンプBで排水すると12分で汲みつくし、ポンプAとBを同時に用いると6分24秒で汲みつくすことができるという。ポンプA、Bが1分間に排水することができる水の量が一定であるとき、水槽の容積として、正しいのはどれか。

- (1) 72 リットル
- (2) 84 リットル
- (3) 96 リットル
- (4) 108 リットル
- (5) 120 リットル

[No.4 6] A商店は、ある商品をいくつか仕入れ、定価の20%引きで売った。その結果、仕入れた個数の10%の商品が売れ残り、利益は仕入れ総額の8%になった。この商品の定価は仕入れ値の何%を上乗せした価格であったか。

- (1) 20%
- (2) 30%
- (3) 40%
- (4) 50%
- (5) 60%

[No.4 7] 1周5.0 kmの環状コースがある。このコースをAは時計回りに走り始め、BはAがスタートしてから5分後にAが走り始めた地点から分速260mで反時計回りに走り始めた。Aが走り始めてから15分後にAとBが初めて出会ったとき、Aが環状コース1周を走るのにかかった時間として、正しいのはどれか。ただし、A、Bともに走る速度は一定とする。

- (1) 25分45秒
- (2) 28分15秒
- (3) 31分15秒
- (4) 33分45秒
- (5) 35分15秒

[No.48] 次の計算式において、2と3の場所のみ分かっている。計算式が成り立つように2と3以外の数字をいれたとき、A、Bに入る数字の組合せとして正しいのはどれか。

	A	B	
(1)	7	1	$\begin{array}{r} \\ \\ \hline \\ \\ \hline \end{array}$
(2)	7	5	$\begin{array}{r} \\ \\ \hline \\ \\ \hline \end{array}$
(3)	7	8	$\begin{array}{r} \\ \\ \hline \\ \\ \hline \end{array}$
(4)	9	4	$\begin{array}{r} \\ \\ \hline \\ \\ \hline \end{array}$
(5)	9	6	$\begin{array}{r} \\ \\ \hline \\ \\ \hline \end{array}$

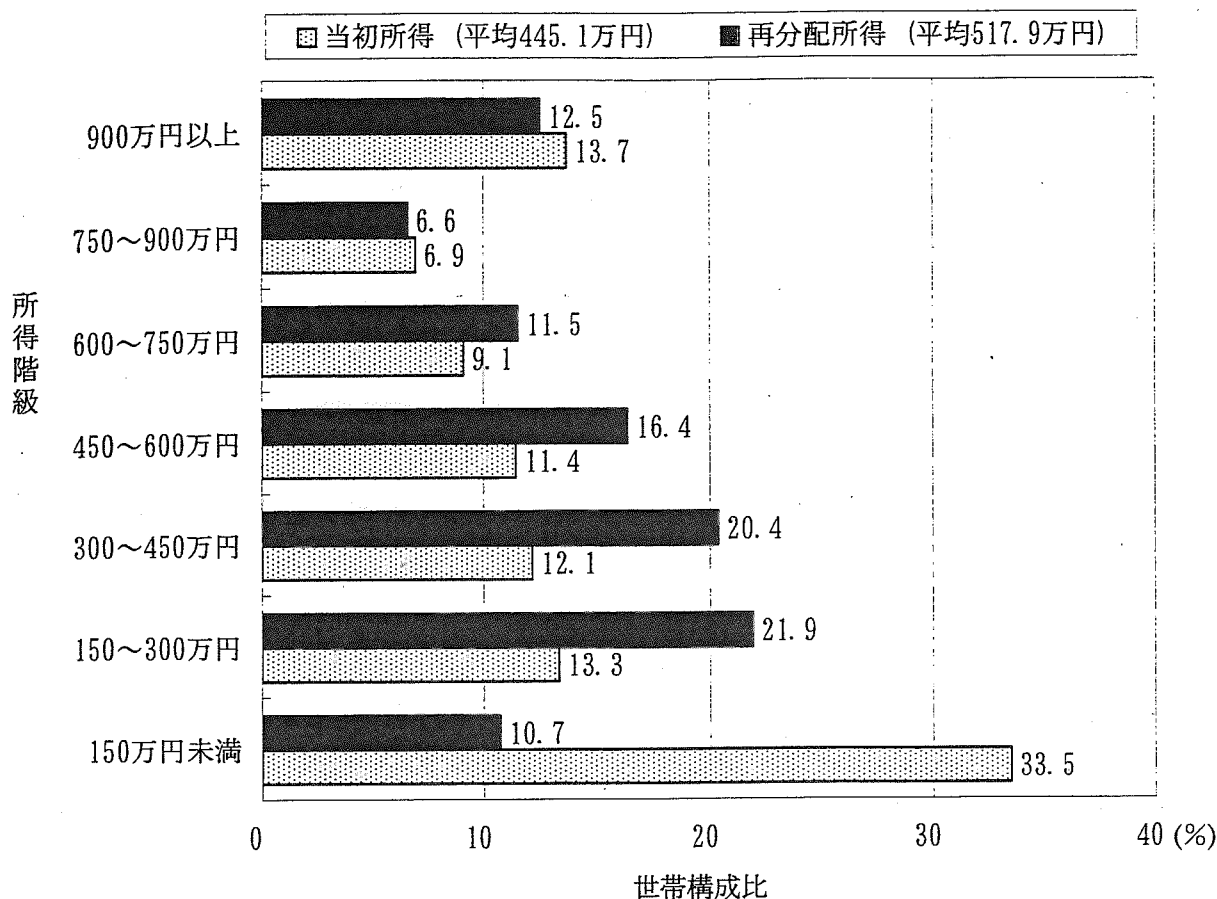
[No.49] 次の表は、医薬品生産金額の上位5つをまとめたものである。この表から言えることとして、最も妥当なのはどれか。

薬効大分類	2009年の生産金額 [百万円] (対2008年増減率 [%])	その年の全医薬品生産金額 に対する比率 [%]	
		2009年	2008年
A 循環器官用薬	1,418,993 (-1.3)	20.8	21.7
B 中枢神経系用薬	700,136 (12.8)	10.3	9.4
C その他の代謝性医薬品	677,181 (4.4)	9.9	9.8
D 消化器官用薬	612,881 (5.2)	9.0	8.8
E 血液・体液用薬	433,228 (6.3)	6.4	6.2

- (1) 表中の5つの医薬品の中には、2009年と2008年とで生産金額の順位が異なるものがある。
- (2) 2009年の「A 循環器官用薬」の対2008年減少額は、2009年の「D 消化器官用薬」の対2008年増加額より大きい。
- (3) 2008年の「E 血液・体液用薬」の生産金額は4千億円未満である。
- (4) 2009年の全医薬品生産金額は7兆円を超えている。
- (5) 2008年の全医薬品生産金額は7兆円を超えている。

[No.50] 次の図は、所得再分配による所得階級別の世帯分布をまとめたものである。この図から言えることとして、最も妥当なのはどれか。

所得再分配による所得階級別の世帯分布



- (1) 当初所得「150~300万円」の世帯数は500世帯未満である。
- (2) 当初所得「150万円未満」の世帯数は、再分配所得「750~900万円」の世帯数の10倍以上である。
- (3) 当初所得「600~750万円」の全世帯の当初所得の合計額より、当初所得「150万円未満」の全世帯の当初所得の合計額の方が少ない。
- (4) 再分配所得「750~900万円」の全世帯の再分配所得の合計額より、再分配所得「150~300万円」の全世帯の再分配所得の合計額の方が少ない。
- (5) もし当初所得「150万円未満」の世帯がすべて当初所得「150~300万円」になり、かつ、それ以外の世帯の当初所得が変化しなければ、全体の当初所得の平均額は500万円を超える。

【出典一覧】

- [No.27] Joel Kotkin 「The city : a global history」
- [No.28] Charles Leadbeater 「Up the Down Escalator」
- [No.29] 森田邦久 「科学哲学講義」
- [No.30] 有田隆也 「生物から生命へ」
- [No.31] 大向一輝・池谷瑠絵 「ウェブらしさを考える本」
- [No.32] 熊田孝恒 「マジックにだまされるのはなぜか」
- [No.33] 阿部謹也 「社会史とは何か」
- [No.34] 渡部信一 「日本の「わざ」をデジタルで伝える」

警察官 (I 類) 論文試験

平成 2 5 年 4 月 2 8 日 (日) 実施

【注意事項】

1. 字数は 1,000 字程度、時間は 1 時間 2 0 分です。
2. 答案用紙の所定欄に、該当する受付番号を記入しマークしてください。右上部の※欄、及びマーク欄には何も記入しないでください。
3. 課題欄には、必ず下記の課題を記入してください。
4. 答案用紙は横書きとし、枠外及びその他余白には何も記入しないでください。
5. メモをしたい場合には、この用紙の余白及び裏面を使ってください。
6. この用紙は、持ち帰ることができます。

～ 本試験課題の無断転載及び複製を一切禁止します。 ～

【課題】

あなたが失敗した経験から学んだことを具体的に述べ、その経験を警察官の仕事にどのように活かしていきたいか述べなさい。